

# リミッター/マキシマイザーの 初期設定

# リミッター/マキシマイザーの基本

OUT CEILING  
(ヘッドマージン)

ATTENUATION  
(リダクション量)



THRESHOLD  
(しきい値)

RELEASE  
(リリースタイム)

## 【OUT CEILING】

デジタルオーディオの最大音量値である0dBからの余裕(ヘッドマージン)を設けるための設定。これがないと、圧縮フォーマットやアナログ信号への変換時にまれにクリッピングしてしまう恐れがある。通常は-0.3~-1.0dB程度に設定しておく。ラウドネスメーターのTrue Peakを参照するのも良い。

## 【True Peak】

楽曲における正真正銘のピーク値のことで、単位は「dBTP」。True Peakが0dBTP未満に収まっていればクリッピングの恐れは少なくなる。とくに音楽配信では-1dBTP以上取ることが重要。

# 音圧アップ時に起きる問題と対処法

## 【問題①】そもそも音圧が上がらない

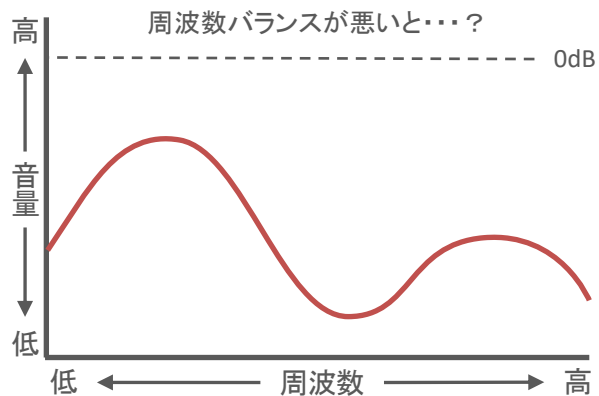
- ✓ 周波数バランスが悪い
- ✓ 定位のバランスが悪い
- ✓ 楽器数や音数が多すぎる

## 【問題②】音圧は稼げたが音質が悪くなってしまった

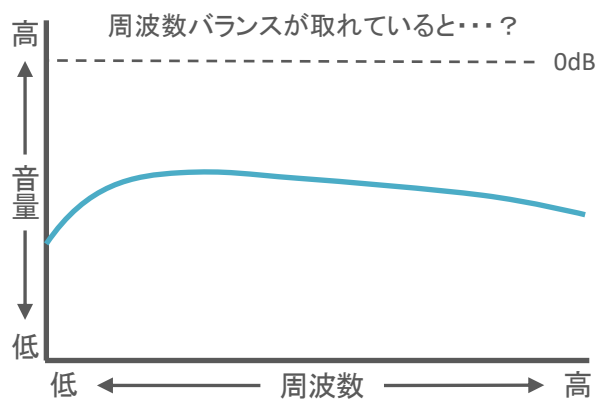
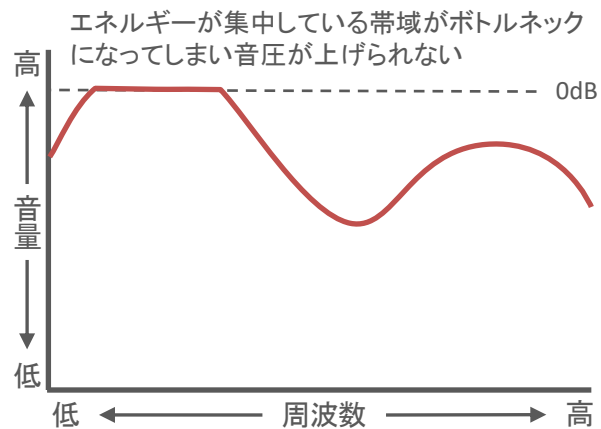
- ✓ リミッターのかかりすぎが原因かも？
- ✓ リダクション量は原則として-1dB~-3dB程度を目安に

うまくいかない時は、アレンジやミックスに立ち戻る勇気を持とう！

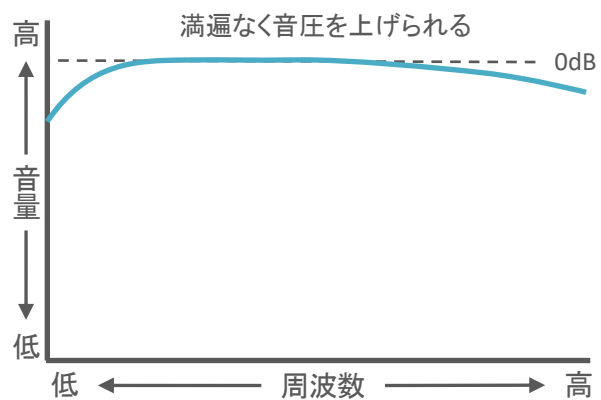
# 周波数バランスと音圧



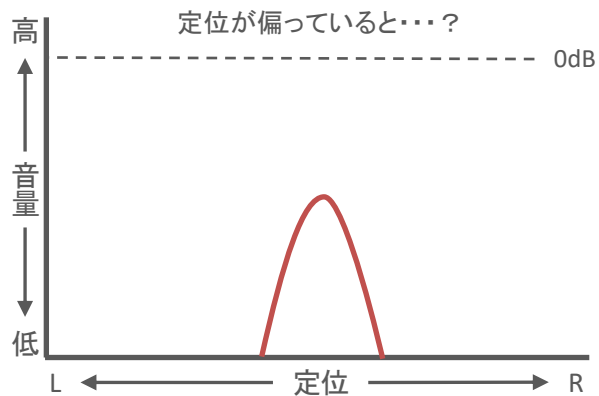
音量アップ



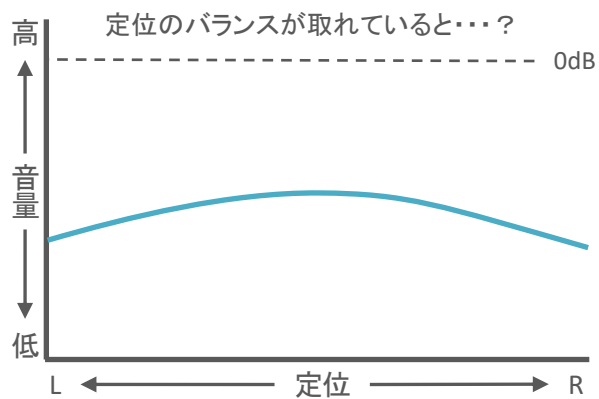
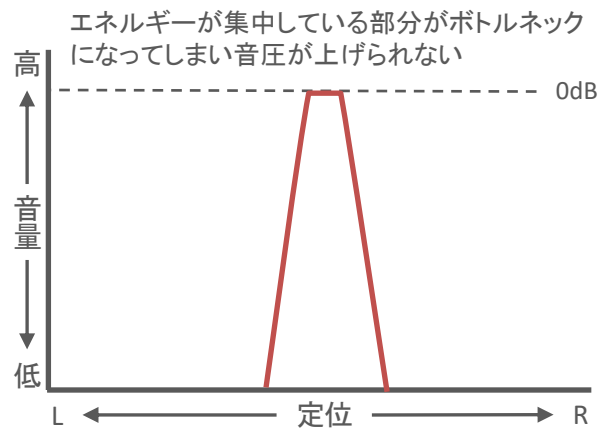
音量アップ



# 定位のバランスと音圧



音量アップ



音量アップ

